

令和8年度最適化活動の目標の設定等

別紙様式1

都道府県名： 広島県

農業委員会名： 広島市農業委員会

I 農業委員会の状況(令和8年4月1日現在)

1 農業委員会の現在の体制

任命年月日	令和7年6月17日
委嘱年月日	令和7年6月18日

任期満了年月日	令和10年6月16日
---------	------------

	農業委員	
	定数	実数
農業委員数	19	18
認定農業者	—	8
認定農業者に準ずる者	—	3
女性	—	3
40代以下	—	2
中立委員	—	1

	定数	実数	担当区域数
農地利用最適化推進委員	42	42	10

2 農家・農地等の概要

	経営体数
総農家数	5,189
農業経営体数	1,350

※ 直近の「農林業センサス」又は「農業構造動態調査」に基づいて記入

	農業者数(人)
基幹的農従事者数	1,702
女性	736
40代以下	130

※ 直近の「農林業センサス」又は「農業構造動態調査」に基づいて記入

	経営体数(経営体)
認定農業者	122
基本構想水準到達者	13
認定新規就農者	16
農業参入法人	28
集落営農経営	12
特定農業団体	12
集落営農組織	0

※農業委員会調べ

単位:ha

	田	畑				計
			普通畑	樹園地	牧草畑	
耕地面積	1,740	639				2,370

※ 直近の「耕地及び作付面積統計」に基づいて記入

Ⅱ 最適化活動の目標

1 最適化活動の成果目標

(1) 農地の集積

①現状及び課題

現状	管内の農地面積(A)	これまでの集積面積(B)	集積率(B)／(A)
	2,370 ha	257.9 ha	10.9 %
課題	農地規模が小さいため、まとまった一団の農地の確保が必要である。		

※1 農地面積は、直近の「耕地及び作付面積統計」における耕地面積を記入

※2 「農地の集積」は、経営局長通知の別表1に掲げる者への農地の集積をいう

※3 「集積面積」は、局長通知別表1に掲げる者へ集積された農地の面積をいう(以下同じ。)

②目標

農地の集積の目標年度	令和 12 年度	集積率	31.4 %
今年度の新規集積面積	97.0 ha	農地面積(C)	2,370 ha
今年度末の集積面積(累計)(D)	355.0 ha	(目標)今年度末の集積率 (E)=(D)／(C)	15.0 %

※ 農地の集積の目標年度及び農地集積率には、設定した目標の根拠とした目標の目標年度及び当該目標年度における農地集積率を記入

(2) 遊休農地の解消

①現状及び課題

現状	直近の利用状況調査により判明した遊休農地の状況		
	1号遊休農地面積	うち緑区分の遊休農地面積	うち黄区分の遊休農地面積
	5.3 ha	5.3 ha	0 ha
課題	推進委員等の担当区域内に遊休農地がない場合は、遊休農地を新たに発生させないことを目標とする。		

②目標

ア 既存遊休農地の解消

a 緑区分の遊休農地の解消

令和3年度の利用状況調査における緑区分の遊休農地面積	6.1 ha
緑区分の遊休農地の解消目標面積	1.2 ha

※ 緑区分の遊休農地の解消目標は、令和3年度の利用状況調査における緑区分の遊休農地面積の5分の1の面積を記入

b 黄区分の遊休農地の解消

令和3年度の利用状況調査における黄区分の遊休農地	0 ha
黄区分の遊休農地の解消のための工程表の策定方針	黄区分の遊休農地が発生していないため、工程表の策定は行わない。

イ 新規発生遊休農地の解消

前年度に新規発生した緑区分の遊休農地の解消目標面積	0.4 ha
---------------------------	--------

(3)新規参入の促進

①現状及び課題

現状	令和5年度新規参入者		令和6年度新規参入者		令和7年度新規参入者	
	54	経営体	63	経営体	63	経営体
	7.0	ha	9.4	ha	10.4	ha
課題	市の農業担い手研修(農業振興センター農業研修)受講者の安定的な確保					

※ 現状欄は、直近3年度の新規参入した経営体数と当該経営体の経営面積の合計の農地面積を記入

②目標

権利移動面積	令和5年度		令和6年度		令和7年度		平均	
	51.3	ha	64.3	ha	96.7	ha	70.8	ha
新規参入者への貸付等について農地所有者の同意を得た上で公表する農地の面積					7.1	ha		

※1 過去3年間の権利移動面積は、農地法(昭和27年法律第229号)第3条第1項に基づく許可及び農業経営基盤強化促進法第19条に基づき公告された農用地利用集積計画による権利移動面積(有償所有権移転(所有権に基づいて耕作の事業に供していたものに限り。)及び賃借権の設定並びに利用権の設定に限り。)を記入

※2 目標面積は、過去3年度の権利移動面積の平均の1割以上を記入

2 最適化活動の活動目標

(1)推進委員等が最適化活動を行う日数目標

1人当たりの活動日数	10	日/月	最適化活動を行う農業委員の人数	19	人
			農地利用最適化推進委員の人数	42	人

(2)活動強化月間の設定目標

活動強化月間の設定回数	3	回
-------------	---	---

取組時期	取組項目	強化月間の内容
8月	遊休農地の解消	遊休農地所有者に戸別訪問を行い意向の把握と遊休農地解消に努める。
9月	新規参入の促進	推進委員が生産販売育成コース、栽培技術基礎コース等の新規就農者を訪問し、面談を行う等のフォローを行う。
10月	農地の集積	推進委員が認定農業査、認定新規就農者を訪問し、農地の集積のため、規模拡大等の意向の確認を行う。

※1 取組項目欄は、①農地の集積、②遊休農地の解消、③新規参入の促進のいずれかを記入

※2 強化月間の内容欄は、活動強化月間の具体的な取組の内容を記入

(3)新規参入相談会への参加目標

新規参入相談会への参加回数	1	回
---------------	---	---

開催時期	令和8年12月	相談会名	“ひろしま活力農業”経営者育成研修体験会
参加者数	5人程度	開催場所	広島市農業振興センター及び現地
相談会の内容	主催:広島市農業振興センター 参加者:研修応募者6人、農業委員2人、推進委員3人、広島市農業振興センター3人 内容:コマツナ播種・収穫・出荷調整体験、就農予定地見学、先輩農家は場見学		
開催時期		相談会名	
参加者数		開催場所	
相談会の内容			

※ 新規参入相談会への参加回数欄は、推進委員等が1名以上参加する相談会の数を記入
(参加者数によらず、1名以上が参加する新規参入相談会ごとに1回とする)